



藤田 まこと

No. 24

議会だより

二〇一六年九月

発行者 藤田 まこと
 事務所 青森市中央 1 丁目22-5
 青森市議会
 社民党控室
 TEL:017-734-5692
 FAX:017-722-8902
 印刷所 スタジオとまと
 TEL/FAX:017-761-2770

平成28年 第3回定例会

議案第 157 号 (アウガ関連議案) を可決

アウガを特別清算し、青森市の公共施設に向けてスタート



6月議会で「アウガ整理支援策」が否決され、市と各会派の代表者との協議を重ね、議会側からの提案内容で臨時議会が開かれることになった。しかし、7月5日臨時議会では、議会からの提示した内容にも関わらず賛成少数で否決されました。

今定例会では、アウガを倒産させるのか、支援策を可決し営業を継続し、会社の整理に向けさせるのかが、議案の採決に係っていました。

議案は可決をされ、弁護士費用は必要な額を使えるようになった事から、清算に向けた作業(公共施設化)が開始されるものと思います。



修繕積立金 約 4 億 1 千万円からの流用を認める

資金不足額	5 千 5 百万円
売上預り金	3 千 1 百万円
営業保証金	7 千 5 百 6 十 万 円
弁護士費用	所要額
現金・預金	- 4 千 2 百 4 十 万 円 (差し引き)

災害対応について

8月末、台風による全市内に避難準備情報が発令され、各市民センターが避難所として開設されました。

岩手の被害状況を見れば、要援護者はできるだけ早く避難させる事が必要と思います。青森市では特に危険と判断された駒込川流域の一部で、危機管理室の指示のもと、戸別訪問をして避難をさせたそうです。

まだまだ、避難準備情報の周知方法が明確に思えない事から、災害発生が予想される場合も含め不安解消のための対策が必要と考えます。

予算委員会で、薬を携帯していないで避難所に避難してしまった場合の市の対応について聞きました。

答弁では避難所には医療関係者が巡回することになっていますが、災害の規模によっては、巡回出来ない可能性がある事から、自らが、避難時に薬を持っていく事を心掛ける必要があります。

● 災害被害想定調査資料の一部

青森市危機管理課 (H28_2_15)

		沖館小学校区域(冬 18時)	
		太平洋沖地震 マグニチュード9.0	入内断層地震 マグニチュード6.7
人的被害	死者数	6名	171名
	負傷者数	26名	386名
建物被害	全壊棟数	174	2,394
	大規模半壊 半壊棟数	140 447	91 695
ライフライン被害 (発災直後)	上水道供給率	75%	2%
	下水道機能支障	3,550名	2,197名
	電力供給率	29%	1%
避難者数、 1 日 後		999名	4,148名

一般質問

1. 市長の辞職発言について

要旨…市長の公式の場での辞職発言

がない事から、市長職の進退発言の真意について質問しました。

市長答弁

私はこれまで、青森駅前再開発ビル株式会社への2億円融資の責任は、提案者である私にあると申しあげてきた。

このたび、同社の第24期決算で23億8千万円余の債務超過となり、市の債権の返済が極めて不透明な状況となったことから、私自身の出処進退を明らかにすべきと判断し、第2回青森市議会定例会閉会日の翌日、6月29日に開催された各派代表者会議の場で辞意を表明したところである。

その上で私は、市長としての責任を果たすため、アウガの公共化の道筋をつけた上で職を辞すべきと考えており、このことは、これまでも7月1日に開催された議会運営委員会、更には7月5日の第1回青森市議会臨時会、そしてマスクミ取材の場など様々な機会にお話してきたところである。

その責任の果たし方と辞職の時期については、アウガの公共化を含めた方向性を示す「新生アウガを指し

て」の最終版を取りまとめ、議決を要する案件があるのであれば御議決いただき、アウガの公共化、そして新生アウガ実現の道筋を立てることで、市長としての責任を果たすことができると考えたところである。

しかしながら、現在まで「新生アウガを指して」の最終版を取りまとめることができず、市民及び議員の皆様には御心配と御迷惑をおかけしていることはお詫び申しあげますが、市長として引き続きアウガの公共化の道筋をつけること、すなわち、新生アウガの最終版、この取りまとめに最大限の努力を傾注して参りたい。

2. 市営バスについて

要旨…最近公共交通を担う運転手の確保が難しくなっているようなので質問しました。

① 嘱託職員から正職員への採用について

バス運転手の確保について

乗務員の正職員の採用については、退職者不補充を継続しているところであるが、将来にわたって安定した組織基盤の構築と、バス運行技術の確かな継承のためにも、いざれ再開すべきものと認識している。

嘱託職員の中からの採用については、公営交通の乗務員としての資質や適性を見定めるために、嘱託職員を経て正職員に採用することは効果

的であるとして、他都市で既に導入している事例であることから、交通部としても十二分に検討すべき方法であると考えている。

3. 収集場所に残された未回収の不燃ごみについて

要旨…集積場所に不燃物として廃棄したゴミが、資源ゴミと判断され、集積場所に残され事があった事から質問しました。

ごみ収集場所における不適正排出物については、収集する作業員が、収集できない旨を表示した警告ステッカーを張り、ごみ出しルールやマナー向上のため、一定の期間、収集場所に残すこととし、排出者に持ち帰るよう促している。

しかしながら、不燃ごみとして出したものが、資源ごみであるとして収集場所に残されたため、それを再度、資源ごみとして出したものの、今度是不燃ごみとして残された、といったケースについては、収集する作業員の分別の誤認によるものと考えられることから、収集する作業員には、このようなケースが発生しないよう、「ごみ減量化・資源化ハンドブック」等により、ごみの種別ごとの取扱いに注意するよう、定期的に周知して参る。

なお、このようなケースで残されたものについては、市が速やかに収集することとしている。

4. ふるさと納税について

要旨…青森市におけるふるさと納税に関する取組と平成27年度の他都市及び青森市に対するふるさと納税額の収支について質問しました。



答弁

		寄付額
青森市への(収入)	他都市から	1億1724万3300円
	青森市民から	157万7000円
	寄付合計	1億1882万0300円
他都市への寄付額 控除申請された分		1億1280万5000円

予算委員会

① 道路冠水時においても走行できる緊急車両について

② 薬を携帯していない避難者への対応について

③ 懲戒処分等に対する市の見解について

☆ご意見・ご要望をお待ちしています☆

社民党控室 藤田 まこと

TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902

ホームページ アドレス <http://www.fujita-makoto.jp/>